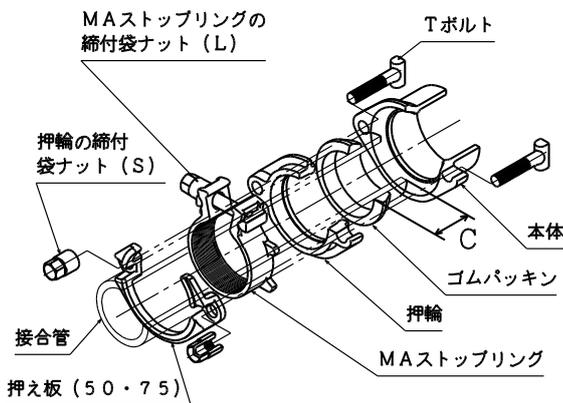


—MAストップリング施工手順—

(水道用石綿セメント管接合部・中央部兼用型)

(1) 接合管に各部品を挿入。

- ・ストップリング、押輪、ゴムパッキンの順に挿入。
但し、呼び径50・75は、押え板を先に挿入。
- ・ストップリング締付部は上部に位置するようにする。
- ・ゴムパッキンは所定の位置(C)にくるようにする。



呼び径	接合管外径	ゴムパッキン挿入位置(C)
50	69～75	55
75	94～100	60
100	123～129	65
125	152～158	
150	181～187	

注) 接合管は、上記表の外径範囲とする。

(2) 押輪の袋ナットにて仮締め。

- ・押え板と共に全部にTボルトを通し仮締めする。

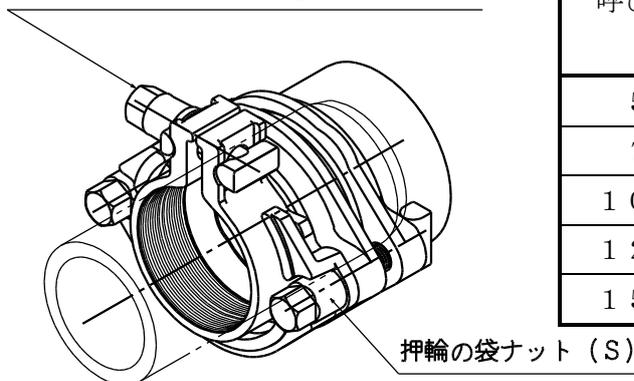
(3) ストップリングの締付袋ナットを締め付ける。

- ・ストップリングを押輪との隙間なしの状態にて標準締付トルクにて締め付ける。

(4) 押輪の締付袋ナットを締め付ける。

- ・トルクレンチ等により標準締付トルクにて均等に締め付ける。
(ストップリングと押輪の間に所定の隙間が確保される。)

MAストップリングの締付袋ナット(L)



呼び径	標準締付トルク (N・m)	
	MAストップリング (ボルトサイズ)	本体締付 (ボルトサイズ)
50	50	50～60 (M16)
75	(M16)	
100	60	
125	(M16)	
150	(M16)	